



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 日本電子株式会社

上場取引所 東

コード番号 6951 URL <http://www.jeol.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗原 権右衛門

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 経営戦略室長 (氏名) 大井 泉

TEL 042(543)1111

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	67,817	3.2	489		1,199		898	
29年3月期第3四半期	65,698	8.2	1,015		912		2,217	

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,479百万円 (%) 29年3月期第3四半期 2,132百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	9.30	
29年3月期第3四半期	22.95	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	113,312	34,087	30.1	352.76
29年3月期	109,045	32,284	29.6	334.11

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 34,087百万円 29年3月期 32,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		3.50		3.50	7.00
30年3月期		3.50			
30年3月期(予想)				3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	5.3	3,000	44.5	2,700	56.6	1,400	134.9	14.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	97,715,600 株	29年3月期	97,715,600 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	1,086,808 株	29年3月期	1,085,824 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	96,629,259 株	29年3月期3Q	96,631,547 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社および当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、当社の取り巻く経済環境、市場の動向、為替レートの変動など、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、米国政策運営に対する不透明感や、北朝鮮情勢の緊迫化などが影を落としているものの、国内における企業業績の好調、所得・雇用環境の安定、株価上昇などを背景とした景況感の緩やかな回復基調を示しております。海外におきましては、欧米では個人消費や設備投資が緩やかに増加し、新興国では内需回復や輸出増加がみられるなど、世界景気全体では緩やかな回復が持続されました。

このような状況下、当社グループは、中期経営計画「Triangle Plan」（平成28年度～平成30年度）に掲げる重点戦略を強力に推進し、企業価値の向上および経営基盤の強化を図るとともに受注・売上の確保に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は67,817百万円（前年同期比3.2%増）となりました。損益面におきましては、営業利益は489百万円（前年同期は営業損失1,015百万円）、経常利益は1,199百万円（前年同期は経常損失912百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は898百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失2,217百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 理科学・計測機器事業

電子顕微鏡への引き合いは好調に推移しました。売上については、上期に投入した新製品を中心に材料・医学・生物分野における幅広い要求に応えたことにより堅調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は44,834百万円（前年同期比 4.3%増）となりました。

② 産業機器事業

電子ビーム描画装置および電子ビーム蒸着用電子銃・電源について、受注・売上ともに好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は9,419百万円（前年同期比 21.1%増）となりました。

③ 医用機器事業

国内向け生化学自動分析装置およびOEM供給先である富士レビオ向けの免疫分析装置の売上が好調に推移しました。一方、海外はOEM供給先であるシーメンスからの受注・売上が低い水準にとどまりました。

この結果、当事業の売上高は13,564百万円（前年同期比 9.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末から4,267百万円増加し113,312百万円となりました。主なものとしては、現金及び預金が1,289百万円、たな卸資産が6,869百万円増加し、受取手形及び売掛金が3,889百万円減少しております。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末から2,465百万円増加し79,225百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が2,333百万円、前受金が3,398百万円増加し、長期借入金が2,563百万円減少したことによるものであります。

一方、当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、利益剰余金の増加等に伴い34,087百万円となりました。以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末から0.5ポイント増加し30.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表しました業績予想に変更はございません。

なお、当社の売上・利益は第4四半期に集中する傾向があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,165	11,455
受取手形及び売掛金	26,779	22,889
商品及び製品	10,309	14,629
仕掛品	27,484	29,920
原材料及び貯蔵品	1,505	1,619
その他	4,354	4,639
貸倒引当金	△473	△478
流動資産合計	80,126	84,675
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,229	6,132
機械装置及び運搬具(純額)	1,032	1,194
工具、器具及び備品(純額)	3,432	3,163
土地	1,789	1,838
リース資産(純額)	687	482
建設仮勘定	292	267
有形固定資産合計	13,464	13,079
無形固定資産		
のれん	2,496	2,219
その他	536	450
無形固定資産合計	3,032	2,670
投資その他の資産		
投資有価証券	9,179	9,759
その他	3,179	3,079
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	12,351	12,831
固定資産合計	28,849	28,581
繰延資産	69	55
資産合計	109,045	113,312

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,064	20,398
短期借入金	11,143	10,145
1年内償還予定の社債	676	676
未払法人税等	354	253
賞与引当金	995	496
その他	15,881	19,799
流動負債合計	47,115	51,767
固定負債		
社債	5,386	5,273
長期借入金	12,594	10,030
役員退職慰労引当金	167	143
退職給付に係る負債	10,265	10,516
資産除去債務	332	332
その他	899	1,161
固定負債合計	29,644	27,457
負債合計	76,760	79,225
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,037	10,037
資本剰余金	9,386	9,386
利益剰余金	13,977	14,198
自己株式	△537	△538
株主資本合計	32,863	33,084
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,121	4,111
繰延ヘッジ損益	5	△0
為替換算調整勘定	△1,519	△1,060
退職給付に係る調整累計額	△2,185	△2,047
その他の包括利益累計額合計	△578	1,002
純資産合計	32,284	34,087
負債純資産合計	109,045	113,312

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	65,698	67,817
売上原価	41,880	43,129
売上総利益	23,817	24,688
販売費及び一般管理費		
研究開発費	5,033	4,091
その他	19,799	20,107
販売費及び一般管理費合計	24,833	24,198
営業利益又は営業損失(△)	△1,015	489
営業外収益		
受取利息	29	15
受取配当金	112	151
受託研究収入	96	136
持分法による投資利益	93	196
貸倒引当金戻入額	11	15
為替差益	25	312
その他	224	149
営業外収益合計	593	976
営業外費用		
支払利息	278	166
売上債権売却損	16	9
その他	195	91
営業外費用合計	490	267
経常利益又は経常損失(△)	△912	1,199
特別利益		
固定資産売却益	291	222
関係会社株式売却益	—	291
その他	0	—
特別利益合計	292	514
特別損失		
固定資産売却損	0	2
固定資産除却損	30	5
和解金	—	66
その他	1	—
特別損失合計	32	74
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△652	1,639
法人税、住民税及び事業税	685	562
法人税等調整額	878	178
法人税等合計	1,564	740
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,217	898
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,217	898

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,217	898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	732	990
繰延ヘッジ損益	△362	△6
為替換算調整勘定	△154	415
退職給付に係る調整額	175	137
持分法適用会社に対する持分相当額	△306	43
その他の包括利益合計	84	1,580
四半期包括利益	△2,132	2,479
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,132	2,479
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	理科学・計測 機器事業	産業機器事業	医用機器事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,971	7,780	14,947	65,698	—	65,698
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	42,971	7,780	14,947	65,698	—	65,698
セグメント利益又は損失 (△)	△1,240	1,408	1,879	2,047	△3,063	△1,015

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△3,063百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,063百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	理科学・計測 機器事業	産業機器事業	医用機器事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	44,834	9,419	13,564	67,817	—	67,817
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	44,834	9,419	13,564	67,817	—	67,817
セグメント利益又は損失 (△)	△693	2,484	1,695	3,486	△2,997	489

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△2,997百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,997百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。